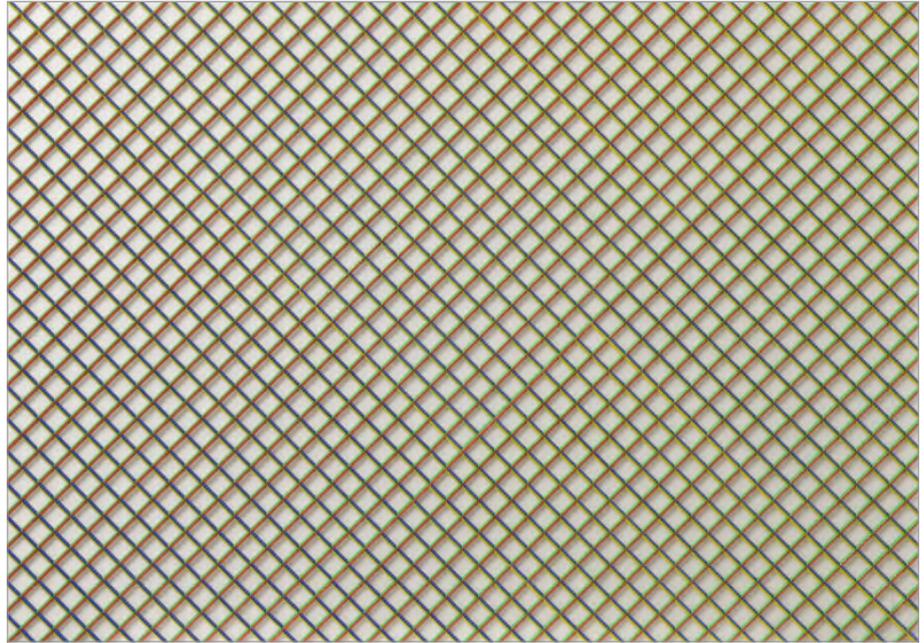


No. 20241818

Rainbow



オオヤナギ ユウヒ
大柳 友飛



デザイン画



空間イメージ図

素材

UVインク

想定する空間

境界をもつ空間

(通りや路地に面する空間や、内部と外部に接する壁をもつ空間など、プログラムは不問)

デザインコンセプト

ことなる境界をつなぐ虹のような、架け橋としての壁面

『Rainbow』は、虹のような現象によって、ことなる境界をつなぐことがコンセプトのプロジェクトです。特殊なUVプリントを施した斜め格子状の素材の凹凸部分それぞれに着彩を行うことで、視点の変化に応じて左右だけでなく上下にも無数に虹の色が現れ、移動にもなって色彩が移ろう点が特徴です。壁面は通常、内と外を隔てる機能が求められますが、『Rainbow』では「隔てながらつなぐ」という相反する現象を実現するため、斜め格子の形状を採用しました。これにより、壁を斜めから見ると“色彩の壁”が立ち上がり、正面から向き合くと、こちら側と向こう側が透けてつながる、いわば“架け橋としての壁”となります。この2つの性質によって「隔てながらつなぐ」という壁面を表現しました。

虹という言葉は、単なる自然現象を超えて、何かと何かをつなぐ架け橋のような存在を想起させます。同様に、『Rainbow』もその存在自体が、ことなる境界をつなぐものとしての壁面になることを提案します。